

東御市上下水道事業包括的民間委託について

1 経過

- (1) 導入1期目 【3年間】平成23～25年度（指名型プロポーザル入札）
- (2) 導入2期目 【5年間】平成26～30年度（一者随意契約）
- (3) 導入3期目 【5年間】平成31～令和5年度（一者随意契約）※「水道施設等管理」を拡充

2 更新に向けた委託内容の主な変更点

項目	係	内容	備考
縮小	水道係	水質検査	市から直接発注
拡充	下水道係	排水設備に関する業務	個別委託から包括委託へ統合
	業務係	料金・使用料以外の入金消込作業	
	水道係	水道緊急対応	

3 更新に向けた契約方法について

導入4期目 【5年間】令和6～10年度（公募型プロポーザル入札）

4 費用対効果について

項目	基準	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
民間人員	22人	23人	23人	23人	23人	23人
職員数（係長以下） ※一般会計の職員 1名含む	10人	9人	8人	8人	8人	8人
委託料	79,388千円	83,125千円	83,125千円	83,125千円	83,125千円	83,125千円
職員人件費	64,305千円	57,160千円	50,015千円	50,015千円	50,015千円	50,015千円
既存予算減額（毎日検査・薬品費・時間外人件費）		▲1,865千円	▲1,865千円	▲1,865千円	▲1,865千円	▲1,865千円
既存予算増額（水質検査）		10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
合計①	143,693千円	148,420千円	141,275千円	141,275千円	141,275千円	141,275千円
R4年度との比較		+4,727千円	▲2,418千円	▲2,418千円	▲2,418千円	▲2,418千円

累計		+4,727千円	+2,309千円	▲109千円	▲2,527千円	▲4,945千円
----	--	----------	----------	--------	----------	----------

令和6年度から段階的に2名減することで、5年間の累計で▲4,945千円の費用対効果が見込めます。

【累計 +4,257千円×1年+▲2,418千円×4年=▲4,945千円】

ただし、委託料等の金額は概算見積書に基づくシミュレーションであり、実際の入札結果等により、費用対効果が図れる場合は、職員数に影響を及ぼさない可能性があります。

民間委託の拡充により、職員の異動等によるサービス低下を抑制するとともに、専門性の高い業務の技術や知識の継承対策を講じることができ、東御市上下水道事業の安定化が期待できます。

5 計画的な事業進捗について

事業名	内容	期待される効果
水道事業	水道施設整備計画の策定（令和4年度）	管路及び施設の計画的な整備
		国からの財政支援の検討
下水道事業	新たな下水処理計画に基づく統廃合事業の推進	維持管理費の削減
	ストックマネジメント計画に基づく改築・更新工事の推進	

上下水道事業は、人口減少に伴う給水収益及び下水道使用料の減少が続いており、また、施設等の老朽化に伴う更新需要費の増加が見込まれています。

今後も支出の抑制を図りながら、収益的取引については、一定規模の当年度純利益を確保するとともに、資金的取引については、上記計画に基づきながら、必要な更新に投資しつつ、損益勘定留保資金など十分な資金の確保に努めてまいります。

6 今後のスケジュールについて

日付	内容
令和4年12月2日	12月定例会 全員協議会 概要報告
令和5年3月3日	東御市上下水道事業運営審議会 概要報告
令和5年3月	3月定例会 令和5年度予算議案上程 債務負担行為の設定
令和5年4月～9月	契約事務（公募型プロポーザル入札により実施）
令和5年10月～令和6年3月	業務引継期間
令和6年4月1日～令和11年3月31日	次期包括的民間委託業務の開始

《参考》下水道処理施設統廃合事業による維持管理費の削減を反映させた場合

項目	基準	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
統廃合事業推進による維持管理費削減額		0円	▲20,000千円	▲20,000千円	▲20,000千円	▲20,000千円